

嚥下造影対応チェア コンバーVFX

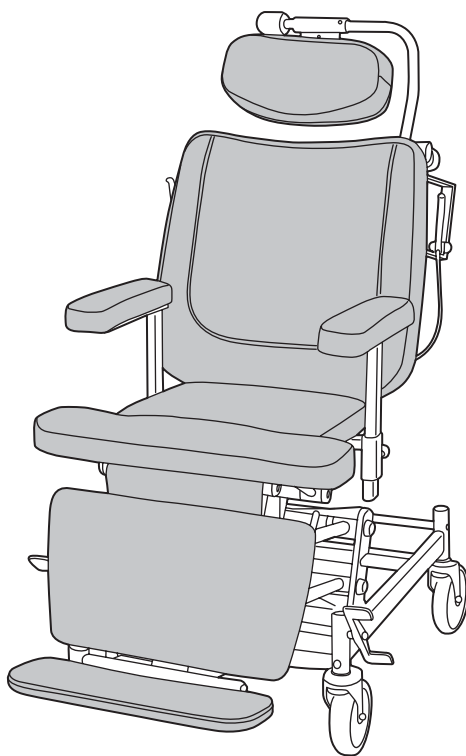
TB-211

取扱説明書

ごあいさつ

このたびは、タカノ商品をお買上げいただき誠にありがとうございます。

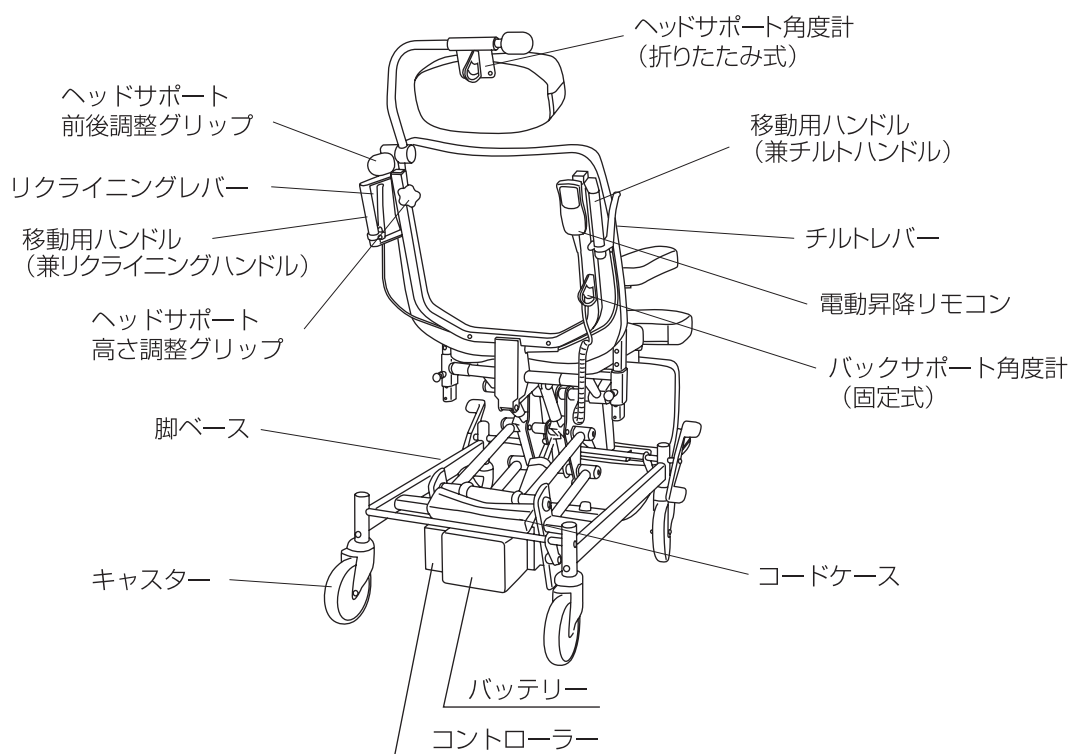
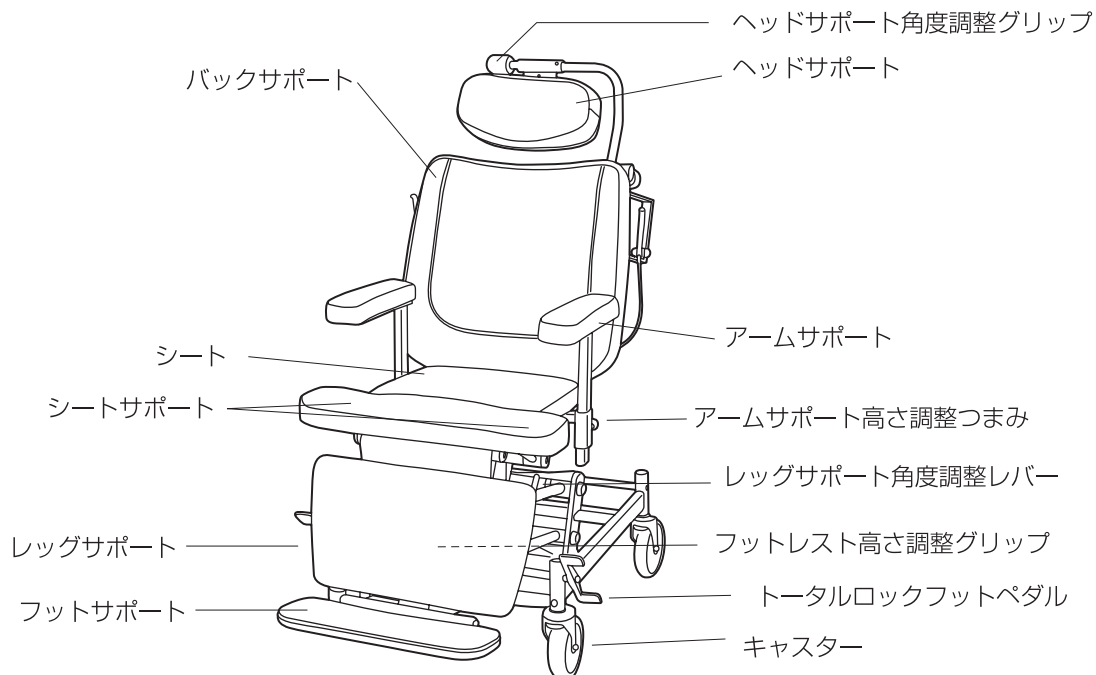
- ・この説明書にはタカノ、本商品を安全にお使いいただくための注意事項と使用方法を記載しています。
- ・ご使用前に、よくお読みの上、正しく安全な取扱い方法を十分理解してからお使いください。
- ・この説明書は、いつでも出して見る事ができるよう、大切に保管してください。
- ・お求めいただきました商品の仕様、外観、価格は予告なしに変更する事があります。



目次

1	各部の名称	2ページ
2	安全にお使いいただくために	4～8ページ
3	ご使用方法	9～19ページ
	・ キャスター	9ページ
	・ 高さ調整機能	10ページ
	・ 充電の仕方	11ページ
	・ リクライニング操作の方法	12～13ページ
	・ フットサポートの調整	14ページ
	・ レッグサポートの角度調整	15ページ
	・ ヘッドサポートの調整および取りはずし	16～17ページ
	・ アームサポートの調整	18ページ
	・ シートサポートの方法	18ページ
	・ チルト機構	19ページ
4	移乗ボード “のせかえくん”（別売り） 看護または介護を受ける方の移乗及び移動	20ページ
5	お手入れの仕方	21ページ
6	故障かな？と思ったら	22ページ
7	仕様	23～24ページ
8	保証とアフターサービスについて	25ページ
9	保証書及び無償修理について	26ページ

1 各部の名称



梱包から本商品を取り出しましたら、次の事を必ずご確認ください。

1. キャスターは、スムーズに回転し、確実にロックされますか？
2. リクライニングがスムーズに行え、自由な位置で止まりますか？
3. チルト機構がスムーズに行え、自由な位置で止まりますか？
4. 昇降はスムーズに行えますか？

- ・その他、本商品が安全に動作することを確認してからご使用ください。
- ・本商品を使用される際は、その都度安全確認を行った上でご使用ください。
- ・尚、万一異常が発見された場合、速やかに使用を中止し他の方が使用されませんよう、本体に故障中の表示を行い、弊社（25ページにお問い合わせ先等記載しております）又は販売店へご連絡ください。

2 安全にお使いいただくために

●ここに表記した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載しています。

- ・本商品を安全に正しくご使用していただくために、事前にこの取扱説明書をお読みになりご理解ください。
- ・お読みになった後は大切に保管をしていただき、定期的に確認の上、記載内容を必ず守ってください。
- ・本商品を本来の用途以外の目的で使用しないでください。

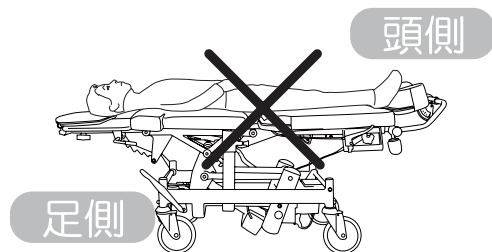
表記と意味は次のようになっています。

警告サイン	内 容
 警告	この表示を無視して誤った扱いをすると、人が死亡または重傷を覆う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して誤った取扱をすると、人が傷害を覆う可能性、物的傷害の発生が想定される内容を示しています。

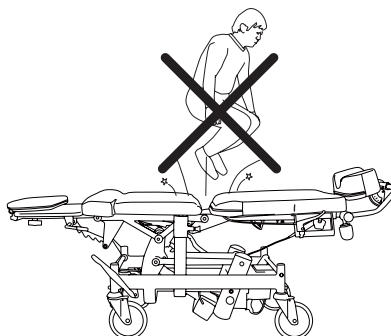
製品を使用する上でご理解いただきたい警告および注意があります。ここに記載した内容を無視した場合、使用者の方が重大な傷害を被る恐れがあります。
よくお読みの上、製品をご使用ください。

警告

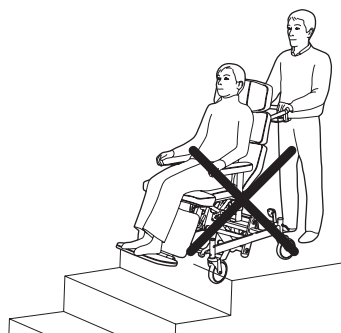
取り扱いを誤ると、重大な事故につながる恐れがあります。
このような使い方はしないでください。



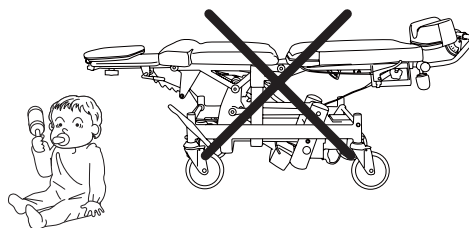
移乗方向を間違わないでください。



ストレッチャー状態（車いす状態を問わず）のクッションの上に立ち上ったり、飛び跳ねたりしないでください。



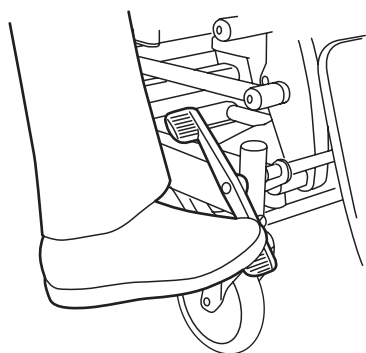
ストレッチャー状態、車いす状態を問わず、階段、エスカレーターでは使用しないでください。



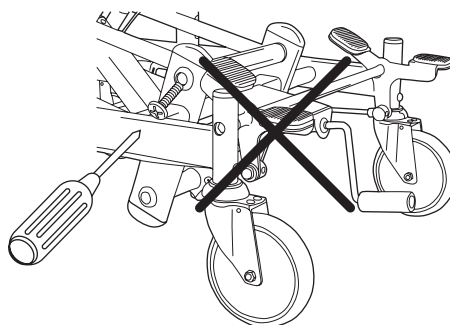
変換操作時や昇降操作時、ストレッチャーの下空間に、人や物が入り込んでいないか十分に確認してください。

冬場の雨や雪の日など、路面が凍結し、すべる所や砂利道では使用しないでください。

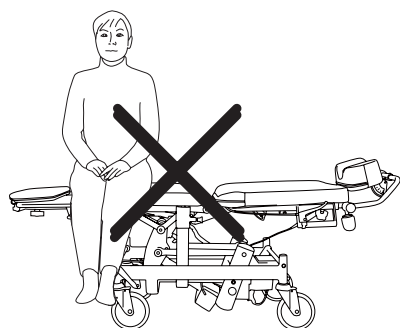
本商品の最大使用体重は、100kgです。それ以上の方の使用は絶対にしないでください。



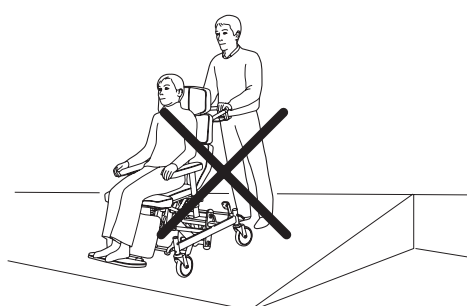
キャストは確実に固定してください。



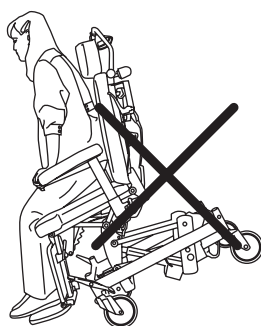
分解、改造はしないでください。



ストレッチャー時、ヘッドサポート部および
レッグレスト部に絶対に腰掛けないでください。



坂道など傾斜のある場所での使用は十分に注意し、
傾斜の強い坂道は必ず、後ろ向きで走行させてください。
また、傾斜地での駐車は絶対にしないでください。



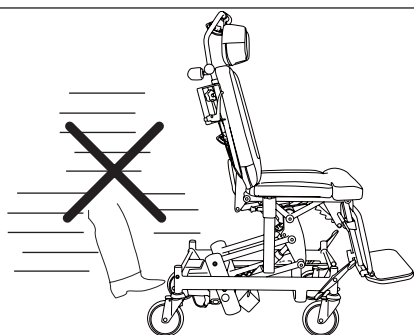
車いす状態で、いすに乗り降りする時、フットレストを
踏み台として使用しないでください。

注意

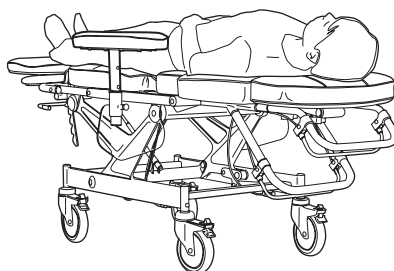
取り扱いを誤ると、傷害を負ったり故障の原因となる恐れがあります。
ご使用の際にはご注意ください。

お使いになる前に、次の事を必ずご確認ください。

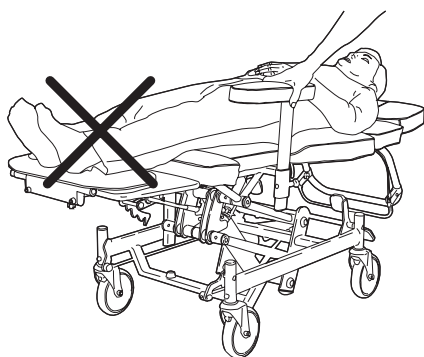
1. キャスターロックの効き具合
2. リクライニングがスムーズに行え自由な位置で止まる。
3. アームサポートの高さ調整が確実にできる。
4. チルト機構がスムーズに行え、自由な位置で止まる。
5. 昇降がスムーズに行え、異音などの異常がない。
6. シートサポートの角度調整がスムーズに行える。



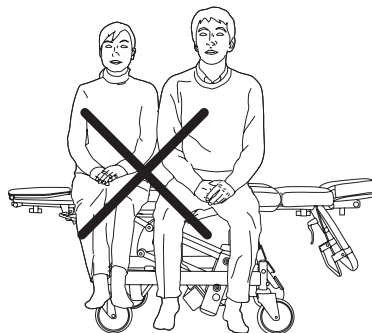
キャスターロックは、走行中のイスを停止させるための設計になっていませんので、走行中にキャスターのロック操作は行わないでください。



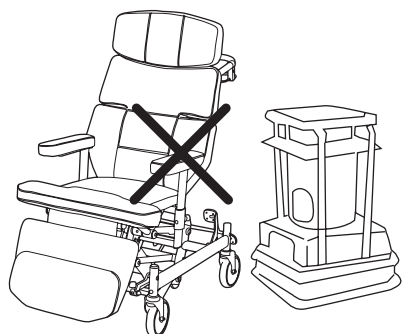
ストレッチャー状態で、人が乗っている場合は落下防止のため、必ずアームサポートを上げてください。



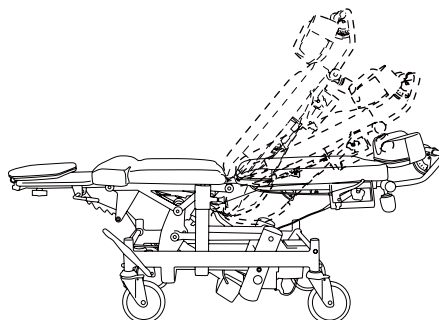
アームサポートのみを持って動かさないでください。



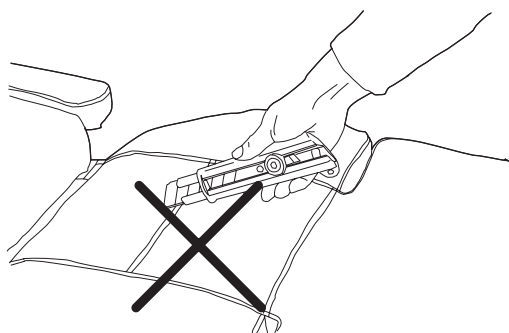
本商品は一人用の設計です。二人以上の使用や、人以外の重い物を絶対に乗せないでください。



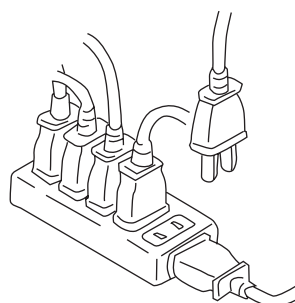
火気（ストーブ、たばこの火等）に近づけて使用しないでください。



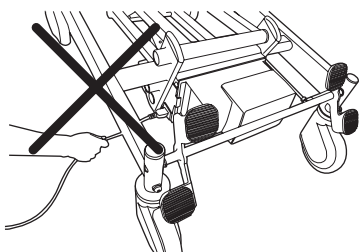
ストレッチャーからイス状態への変換等はゆっくり行ってください。



各部に、刃物や角張った物を当てないで下さい。



電源プラグのたこ足配線をしないでください。
電源は、家庭用電源コンセント（AC100V）から直接取ってください。



電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜いてください。破損の恐れがあります。

各部件の欠落、異常がある場合は使用しないでください。

水がかかる場所や、湿気の多い場所で使用しないでください。感電や故障の原因となります。

ウエイトトレーニングやリハビリ用具として設計されていませんので、そのような使用はしないでください。

専用のオプション部品以外を外付けして使用しないでください。

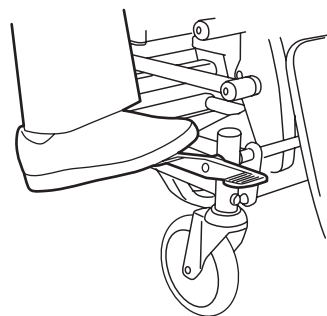
3 ご使用方法

●キャスター トータルロック式

キャスターの3つの機能

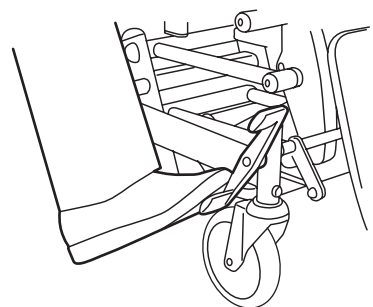
<機能1> 4輪ロック機能

トータルロックフットペダルを下側一杯に踏み込むとロックします。ストレッチャーから車いすへの変形時、移乗時等本体を止めたい時にご使用ください。



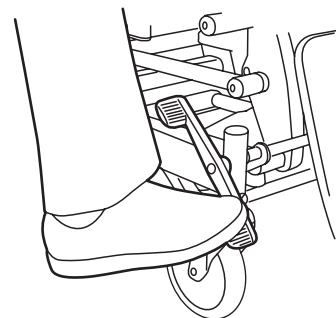
注意

トータルロックフットペダルは、走行中の本体を止める設計になっていないので、走行中には、フットペダルを操作しないでください。



<機能2> 4輪フリー機能

トータルロックフットペダルを中間位置にすると、4輪フリー状態になります。ベッドへの横付け、小回りさせたい時にご使用ください。



<機能3> 走行制御機能

ストレッチャー状態、車いす状態を問わず、本体を走行させるときの走行安定性を上げる機能です。後輪2個のみに3つの機能があります。トータルロックフットペダルを奥に踏み込み1mほど後退または、前進させますと、後輪2輪の首振りがロックされます。ロックされたことを確認し、走行を行ってください。



注意

路面の横方向に傾斜がある場合必ずご使用ください。4輪フリーの状態ですと、本体を前に押しても傾斜方向に本体が走行し、思う方向にいきません。

走行制御機能は、片方が前向き、もう一方が後ろ向きでもロックしてしまいますので、そうってしまった時は、一度、<機能2>の4輪フリー機能を使いトータルロックフットペダルを自由にしてから、本体を後退または、前進させ、キャスターの向きを揃えてからロックしなおしてください。

●高さ調整機能

移乗の際、ベッドに合わせ高さを調整したり、
テーブル等との高さ関係を調整する事が出来ます。

●高さを上げる(下げる)時

1.トータルロックフットペダルを確実に踏み込み、本体を止めます。



警告

必ずキャスター(車輪)がロックしていることを確認して
高さ調整を行ってください。ロックされていない場合、高
さ調整中に動き出し、ケガや思わぬ事故になります。

2.リモコンで、上げる場合は▲ボタンを押します。

下げる場合は▼ボタンを押します。

押している間は動きます。指を離すと停止します。

バッテリーメーターランプ:リモコンスイッチを押した時に、
点灯します。

- ・み ど り……バッテリー残量は十分です。
- ・オレンジ……バッテリー残量が少なくなっています。
- ・あ か……バッテリー残量がありません。

(同時にブザーが鳴ります)

オレンジとあかのランプが点灯した時は充電してください。

(P.12参照してください)



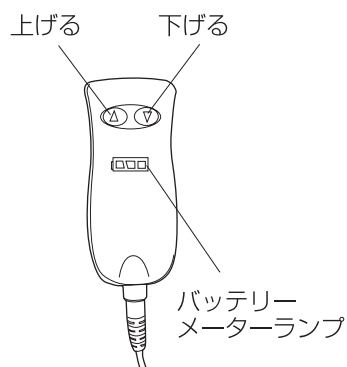
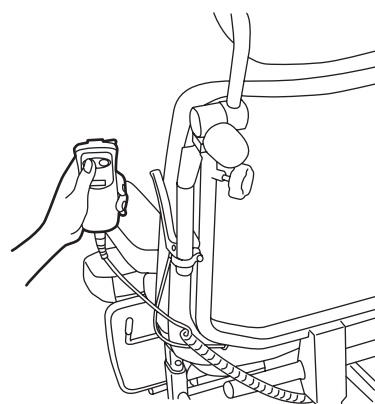
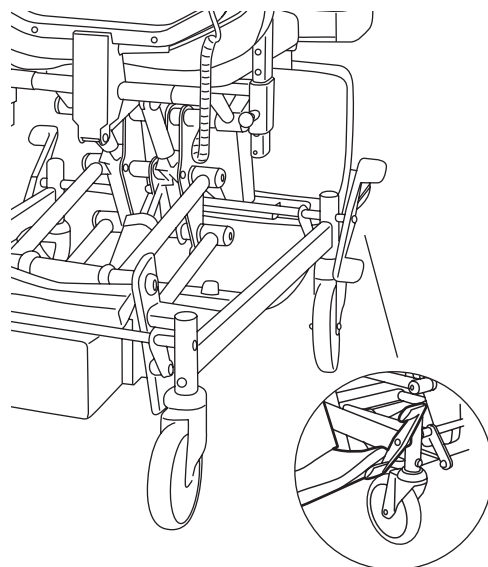
警告

- 昇降中は乗っている人や本商品の回りに十分注意を
払ってください。
- 本商品の前後に十分な間隔があることを確認して、昇
降操作を行ってください。
足や頭を打ったり、挟まれたりしてケガや思わぬ事故
の原因になります。
昇降時…シート、バックサポート、レッグサポートが足に
対して頭側に最大150mm動きます。
下降時…足側に最大150mm動きます。



注意

上下昇降を連続して、2分間以上しないでください。
連続して上下昇降を行った場合は、十分に休止時間をと
ってください。(2分間連続稼働時、約18分間の休止が
目安です)



●充電の仕方

リモコンのバッテリーメーターランプがオレンジや赤に点灯したら、充電する必要があります。

1. コントローラー横の埋め込みプラグに電源コードのコンセントを差し込みます。
(電源コードはコントローラー上のコードケースに収納されています。)



警告

コンセントは根元まで埋め込みプラグに差し込んでください。
差し込みが不完全だと、ショートや発熱による発火の原因となります。

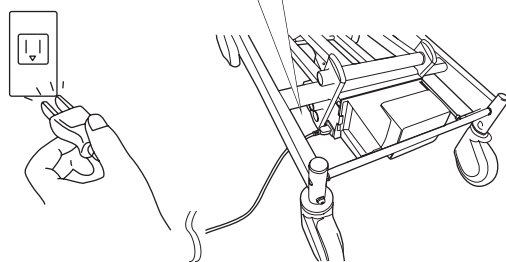
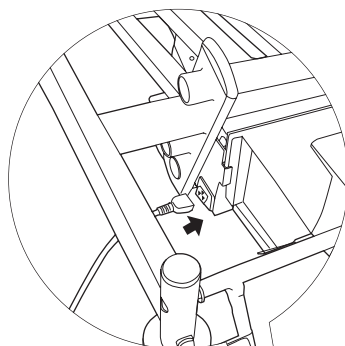
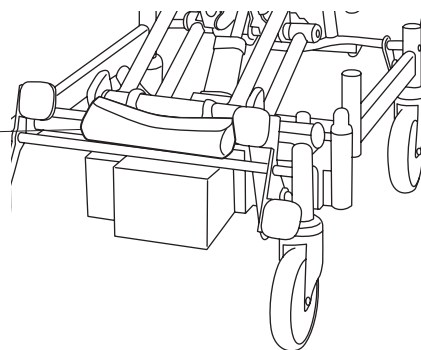
2. 電源コードのプラグをAC/100V、アース付コンセントに差し込んでください。



警告

- 電源は必ずAC/100Vのコンセントを使用してください。
- 感電防止のため、アースは必ず接続してください。
- アースは、次の所へは接続しないでください。
・ガス管 ・水道管 ・避雷針 ・電話線

- 満充電は、連続充電8時間が目安です。
- バッテリー残量が無くても、電源コードをつなげばすぐ昇降させる事ができます。
- 充電はオレンジや赤ランプが点灯してから行った方がバッテリーの寿命を長く出来ます。但し、完全に放電してしまいますと、バッテリー寿命が短くなりますので赤ランプが点灯しましたら、ただちに充電を行ってください。
- 長期間使用しない場合は十分に充電し、なるべく涼しい所に保管し、1ヶ月に一度は充電してください。
自然放電が進むと、バッテリーの寿命が短くなる場合があります。
- バッテリーは一回の充電での昇降回数が半分程度になりましたら、お取り替えの時期とお考えください。



●リクライニング操作の方法



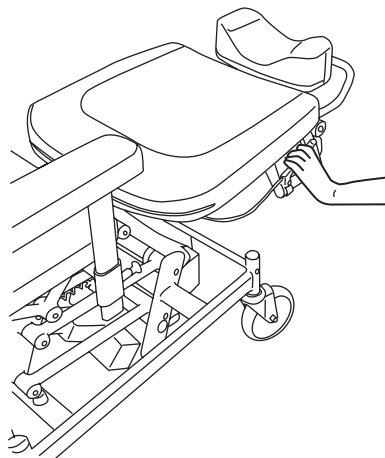
操作前に必ずキャスター（車輪）がロックしている事を確認してください。
リクライニング中に動き出し、けがや思わぬ事故の原因となります。



すべての操作は、事前に乗っている人に声をかけて、ゆっくり行ってください。

●ストレッチャーから車椅子に変換する時

- 1 両手で移動用ハンドルを持ち、左側のリクライニングレバーを図のように握りながらゆっくり上側に持ち上げてください。



操作は必ず両手で行ってください！

- 2 止めたい位置で、リクライニングレバーから手を、はなします。

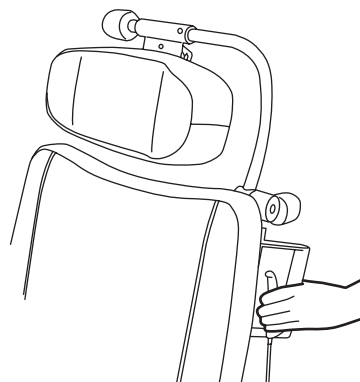


レバーをはじくように、はなさないでください。
故障の原因になります。

- 3 0°（水平状態）から背もたれ角度約75°の間で、任意の角度で止まります。

背面右下部の固定式角度計を目安にしてください。

リクライニングの操作時、レッグサポートも同調して
0° ~ -75° の間で動きます。



●車椅子からストレッチャーに変換する時



警告

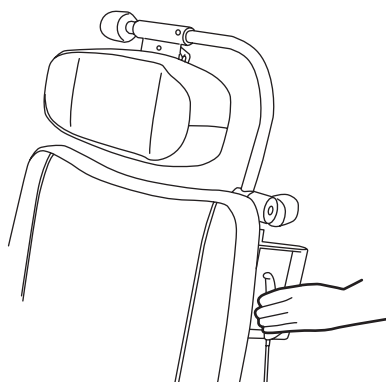
操作前に必ずチルト機構を元の位置に戻してください。チェアからストレッチャーに変換する際、チルト機構が戻っていない（頭下がりの状態になります）とわかったら、ただちに操作を中止し、一度イスの状態にもどし、チルト機構を戻してからストレッチャー状態に変形させてください。乗っている方がすべり落ちる等、ケガや思わぬ事故の原因になります。

- 1 両手で移動用ハンドルを持ち、左側のリクライニングレバーを図のように握りながらリクライニングハンドルをゆっくり下側に押しつける様にします。



警告

操作は必ず両手で行ってください！

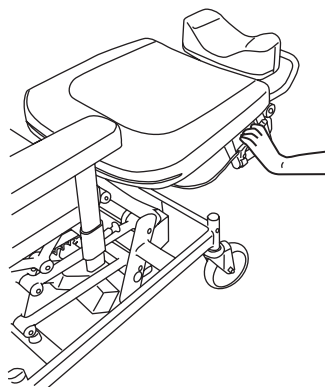


- 2 任意の位置で止めたい時は、止めたい位置で一杯に下側になったらリクライニングレバーから手をはなします。



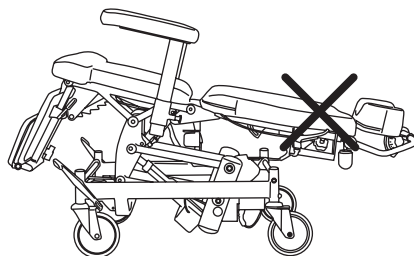
注意

レバーをはじくように、はなさないでください。故障の原因になります。



警告

車椅子状態からストレッチャー状態に戻す際、必ずチルト機構を元の状態（車椅子の状態が一番起きた状態）に戻してください。チルト機構の状態だと、ストレッチャー時、頭が下がった状態になり、大変危険です。



●フットサポートの調整

乗っている人の体格に応じてフットサポートの高さを調整する事が出来ます。

(梱包時、フットサポートは一番縮んだ状態で梱包されています。)

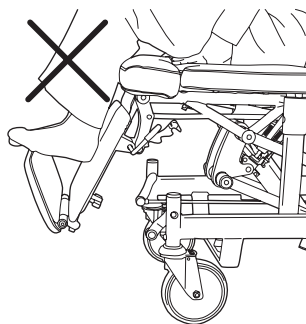
●フットサポートの使用状態

フットサポートは、ストレッチャーにした時の0° と、足置き状態で使用する90° の2種類の使用方法があります。



警告

フットサポートは0° と90° の中間点で絶対に使用しないでください。急にフットサポートがたたまったり、起きあがったりして、けがや思わぬ事故の原因になります。



警告

いすに乗り降りする際には、フットサポートを踏み台として絶対に使用しないで下さい。本体が転倒し、ケガをする恐れがあります。

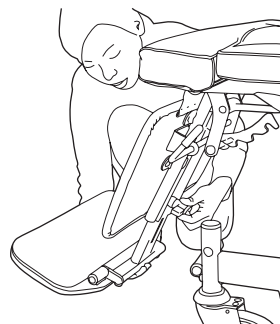
●フットサポートの高さ調整

片手でフットサポート側を下側から支え、もう一方の手でフットサポート高さ調整グリップをゆるめ、ゆっくり押し上げて（下げて）ください。高さが決まりましたらグリップを強く締めてください。



警告

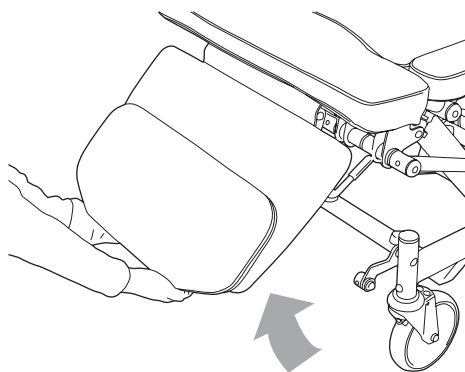
上下操作は必ず両手で行ってください。
けがや思わぬ事故の原因になります。



●レッグサポートの角度調整

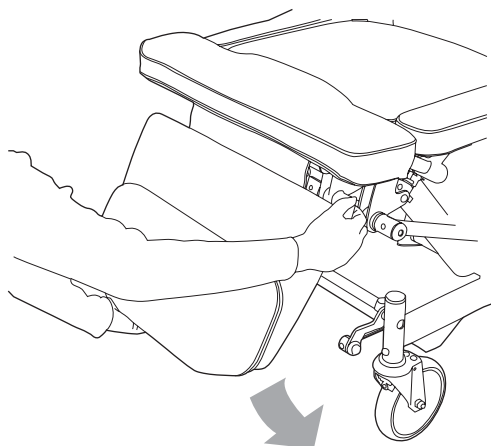
●角度の調節上げる

両手でフットサポート先端部を下側から支えそのままカチッと音がするまでゆっくり引き上げて下さい。
4段階の調整が出来ます。



●角度の調節下げる

片手でフットサポートを支え、少しフットサポートを持ち上げながら、もう片方の手でレッグサポート角度調整レバーを握り、ゆっくり下げて下さい。



警告

角度操作は必ず片手でフットサポートを支えた状態で行って下さい。
レバーのみ操作しますと、急激な角度変化により、乗っている方に不安を与えたり、
思わぬ事故や故障の原因となります。

●ヘッドサポートの調整および取りはずし

●高さの上下調整

図の位置を持ち、片方の手で、ヘッドサポート高さ調整グリップをゆるめ、ゆっくり引き上げ（下げ）て下さい。高さが決まりましたらグリップを締めて下さい。



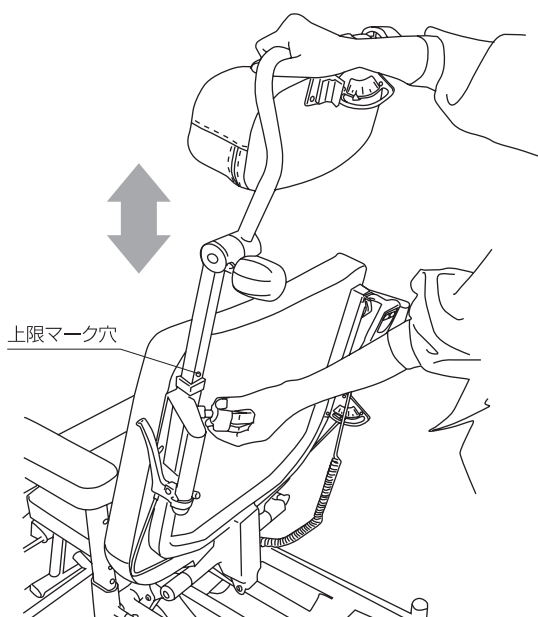
警告

ヘッドサポートは上限マーク穴が出ない範囲で使用してください。ヘッドサポートが外れ思わぬケガをする恐れがあります。



注意

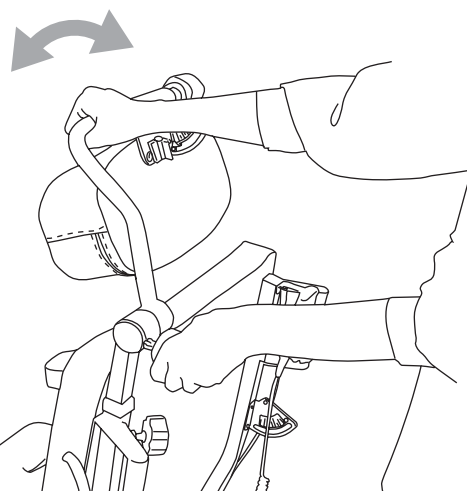
上下操作は必ずヘッドサポートを支えて行って下さい。また、グリップを締めるまで、ヘッドサポートを持った手は離さないで下さい。



●ヘッドサポートの取りはずし

図の位置を持ち、片方の手でヘッドサポート高さ調整グリップをゆるめます。ヘッドサポート本体をゆっくり引き上げると、取りはずすことができます。

*ヘッドサポートを元に戻した時には、高さ調整グリップを締めて下さい。



●ヘッドサポートの前後調節

片手でヘッドサポートパイプを持ち、もう片方の手でヘッドサポート角度調整グリップを約一回転ゆるめます。ヘッドサポートを前後に動かして位置を調整します。

●ヘッドサポートの調整および取りはずし

●ヘッドサポートの角度調節

片手でヘッドサポートパイプを押さえ、もう片方の手でヘッドサポート角度調整グリップを約一回転ゆるめます。ヘッドサポートを前後に動かし角度を調整します。



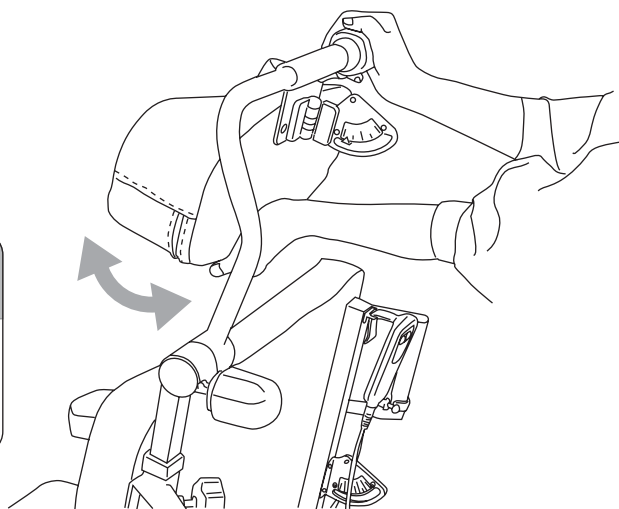
注意

グリップは必要以上に回さないで下さい。ゆるめすぎるとグリップが外れ部品を紛失する恐れがあります。



警告

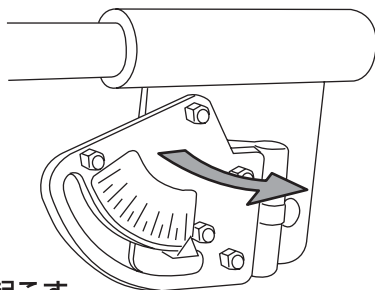
ヘッドサポートの調整は必ず両手で行ってください。
グリップのみ操作しますとヘッドサポートが急激に動き、思わぬ事故や故障の原因となります。



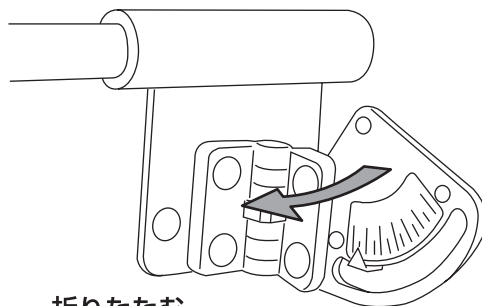
●角度計を起こす・折りたたむ

ヘッドサポートの角度調整を行う時は角度計を起こしてから行ってください。

(※折りたたみ状態では、角度は測れません)
また、必要に応じて角度計を折りたたんでください。(折りたたむ方向は、角度計が起きている状態から、左方向です)



起こす



折りたたむ

●アームサポートの調整

●アームサポートの機能

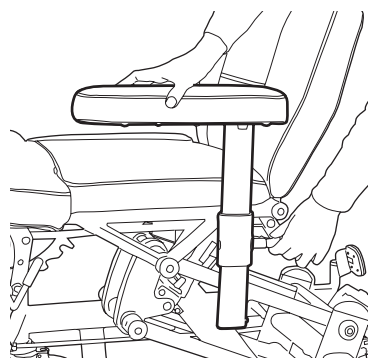
アームサポートは、ストレッチャー状態での乗っている人の安全確保（落下防止柵）の機能と、体位保持するための2つの機能があります。使用目的に合わせて高さ調整を行って下さい。

●アームサポートを上げる

片手でアームサポートを弱い力で引き上げながらもう片方の手で、アームサポート高さ調節つまみを引いて高さを調整して下さい。

高さを上げるときの目安は、パイプ後方にある穴が目安です。

アームサポート高さ調節つまみの先端が穴に入って固定されますので、あらかじめ高さ調節つまみを離して引き上げますと自動的にカチッと音がして固定されます。高さは7段階で調節ができます。

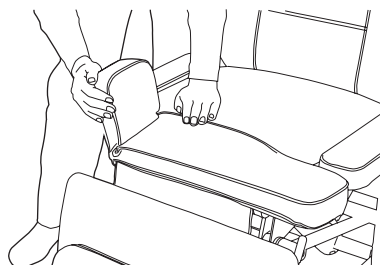


●アームサポートを下げる

片手でアームサポートを握りもう片方の手でアームサポート高さ調節つまみを引きながらゆっくりアームサポートを下げ、最後にアームサポート高さ調節つまみを戻して下さい。

●シートサポートの方法

- 1 トータルロックフットペダルを確実に踏み込み、キャスターをロックし本体を止めます。
- 2 サポート部分を持ち、上方に折り曲げ、任意の位置にサポートさせます。

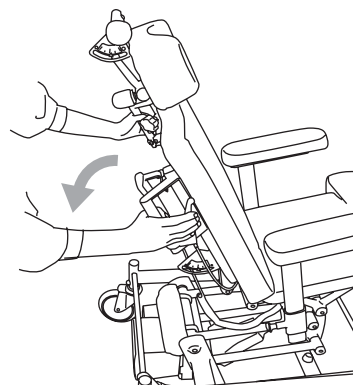


●チルト機構

この機能は、乗っている人の座り心地や座位の安定性を良くする為の機能です。

●チルト機構を使う

- 1 両手で移動用ハンドルを持ち、右側のチルトレバーを図のように握りながら移動用ハンドルをゆっくり下側に押しつける様にします。
- 2 好みの角度になりましたらチルトレバーから、ゆっくり手をはなしてください。作動角度は、後方に15°の範囲内で無段階に止めることができます。

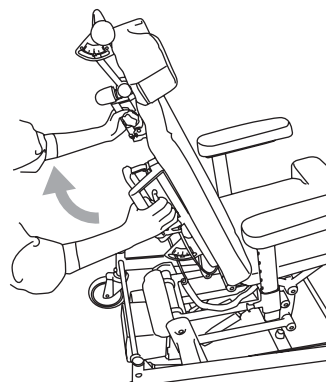


注意

キャスターがロックされているか確認してください。
ロックされていない状態で操作しようとすると、
うまく操作出来ない事があります。

●チルト機構を元に戻す

- 1 両手で、移動用ハンドルを持ち、右側のチルトレバーを、握り移動用ハンドルをゆっくり、引き上げるようにしてください。
- 2 引き上げて止まりましたら、元の位置です。
チルトレバーから手を離してください。



警告

車いす状態からストレッチャー状態に戻す際、必ずチルト機構を元の状態（車いすの状態が一番起きた状態）に戻してください。チルト機構の状態だと、ストレッチャー時、頭が下がった状態になり、大変危険です。

別売移乗ボード「のせかえくん」を使用しての移乗・移動の場合 4 看護または介護を受ける方の移乗および移動

●ベッドからコンバーVFXへの移乗方法

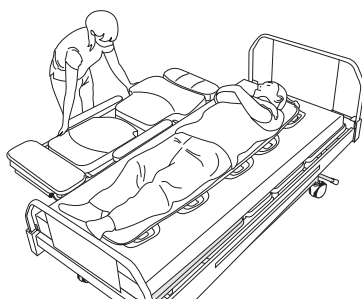
手順1

寝ている方を側臥にして、
移乗ボード「のせかえくん」を
しきこみます



手順2

本商品をベッドに
横付けし、ベッドと
本商品のどちらかで
高さを調整し、
キャスターをロック
します。



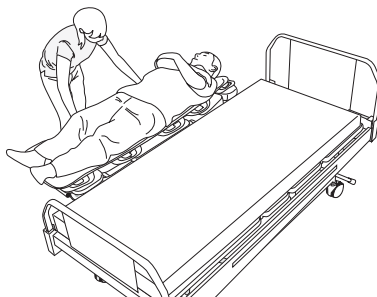
手順3

移乗ボード「のせかえくん」の
取っ手を2ヶ所もちます。



手順4

取っ手を
ひきよせ、
本商品の中心に
移乗させて
下さい。



手順5

移乗後、リクライニング
レバーで車いすの状態に
ゆっくり起こします。



手順6

ゆっくり起こします。
この時アームサポートと
シートの上に
手を挟まないように
注意して下さい。



手順7

完全に起き上がりましたら、
リクライニング角度
ヘッドサポート、フットサポート、
アームサポート等の
調整を行って下さい。



ストレッチャーからベッドへの
移乗の場合は逆の手順で行って
ください

5 お手入れの仕方

●点検とお手入れ



お手入れの際には、必ず電源プラグをコンセントから抜いて下さい。

1.点検

本商品はより高い安全性とより長い耐久性を追及して作られていますが、ご使用になる場所や条件、または長時間のご使用などによって変化することが考えられます。定期的な点検を必ず行ってください。

2.お手入れ

本商品への水分の付着や湿気は、さびや異音の原因になりますので避けると共に付着した場合には直ちにふき取るようにしてください。

3.掃除について

掃除は、水で薄めた中性洗剤にひたした布をよく絞って使用し、乾いた布でふき取ってください。

電源コードのプラグは、定期的に点検してください。プラグを半年に一回、乾いた布で刃およびその取り付け面を拭いてください。電源プラグにホコリが付着していたり、コンセントにしっかり差し込まれていないと感電や火災の原因になります。



変色・変質の原因となりますので、揮発性のもの（アルコール、シンナー、ガソリン）などで絶対に拭かないでください。

6 故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に以下の項目をもう一度チェックしてください。

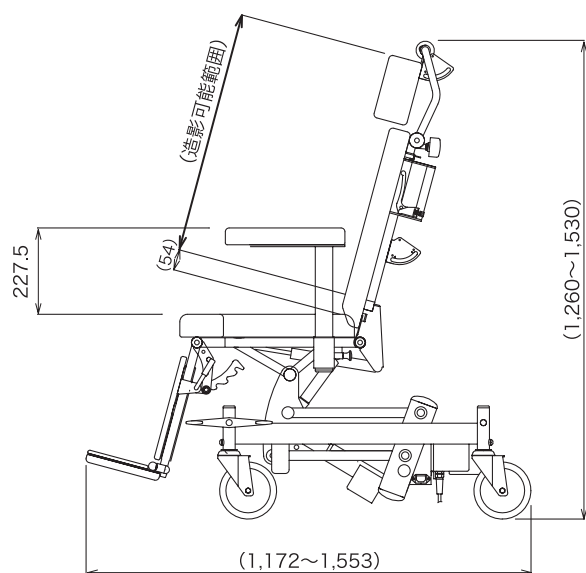
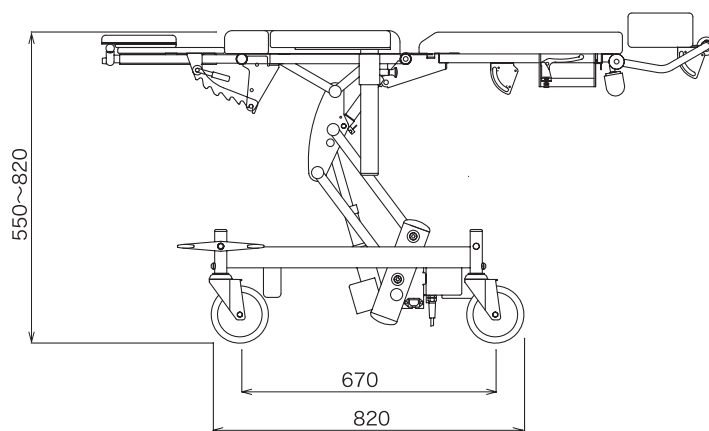
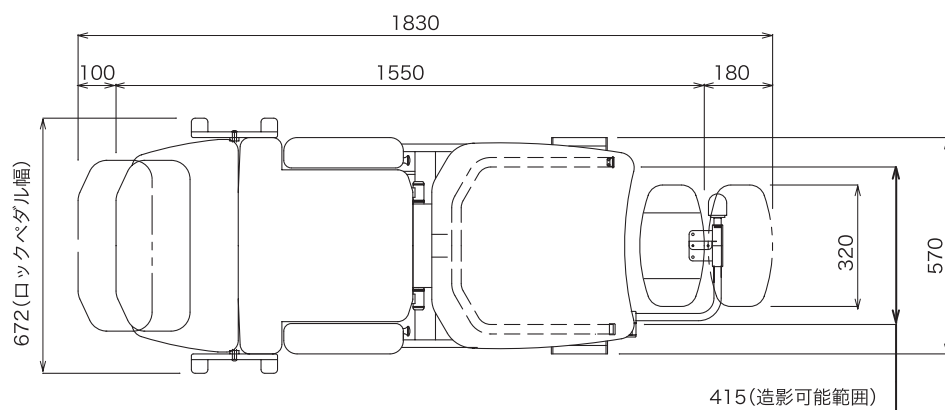
症 状	チェック	処 置	参照ページ
◇移動できない	◇キャスターロックが されている	◇キャスターロックを解除する。	9
◇まっすぐ進まない	◇キャスター操作 ペダルの位置	◇キャスター＜機能3＞を使う。	9
◇リクライニング できない	◇ワイヤーケーブル ◇操作レバー	◇お買い求めの代理店にお問い合わせ ください。	12,13
◇チルト機構が うまく作動しない	◇ワイヤーケーブル ◇操作レバー	◇お買い求めの代理店にお問い合わせ ください。	19
◇昇降できない	◇昇降範囲が上限又は、 下限まできている	◇リモコンの押しボタンの方向を確認 してください。	10
	◇バッテリーの充電が 不十分 ◇手元ボタンを押すと メーターランプが赤く 点灯し、ブザーが鳴る	◇バッテリーを充電してください。	10,11
	◇コントローラー下の コネクターが外れて いる	◇確実に差し込んでください。	10
	◇最大荷重以上の負荷が かかっている	◇体重100kg以上の人を乗せて昇降 することはできません。	6
	◇連続的に昇降（連続 運転）させていませ んか？	◇約20分程操作を止めて、もう一度 昇降の操作をしてください。	23
◇充電できない	◇コントローラー下の バッテリーとコント ローラーを接続する コードが外れている	◇確実に差し込んでください。	11
	◇バッテリーの電圧降下	◇バッテリーを交換してください 交換はお買い上げの販売店へご相談 ください。	11
	◇電源コードの断絶	◇電源コードを交換してください。 交換はお買い上げの販売店へご相談 ください。	11
◇昇降できる回数が 減少した	◇バッテリーの消耗	◇昇降回数が購入時の半分程度になり ましたらバッテリー交換時期です。 交換はお買い上げの販売店へご相談 ください。	11
◇昇降時、異音がする ◇昇降速度が以上に 遅くなった	◇電動アクチュエータ の寿命	◇直ちに使用を中止し、お買い上げの 販売店へご相談ください。	11

●ご相談の際は製品名、製造番号、故障と思われる状態などを併せてご連絡ください。

7 仕 様

品 名		コンバーVFX
品 番		TB-211
寸 法	全 高	ストレッチャー時／450～820mm ウィールチェア時／1,260～1,530mm
	奥 行 き	ストレッチャー時／1,560～1,830mm ウィールチェア時／1,200mm
	全 幅	672mm
	最 大 負 荷	100kg
	座 面 高	550～820mm
	座 幅	400mm
	座 奥 行 き	430mm
	背もたれ角度	0°～75°±3°
	チルト角度	0°～15°
	ヘッドレスト 高さ調整範囲	180mm
	フットレスト 高さ調整範囲	100mm
材 質	キャスター	φ150 トータルロックタイプ
	フ レ ー ム	鋼管フレーム、アルミニウム
	表 生 地	塩化ビニール
昇 降 装 置	電 源	AC100V 50/60HZ
	消 費 電 力	約100W
	昇 降 時 間	昇降約14秒,下降約11秒(70kgの人が乗っている場合の参考値)
	定格連続運転 許 容 時 間※	最大2分間(休止なく昇降を行っている場合)
	モーター形式	24VDCモーター(1P保護等級 IP54)
	バッテリー容量	24V×2.9AH(型番LAKB-2-G)(1P保護等級 IP54)
	使用温度範囲	5°～40°

※定路連続運転許容時間：昇降動作を休止することなく連続的に行う時間です。





U R L <http://www.takano-hw.com>

Rev.2 (2012.02.02)